

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成27年4月30日 (2015.4.30)

【公開番号】特開2013-226204(P2013-226204A)  
 【公開日】平成25年11月7日 (2013.11.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-061  
 【出願番号】特願2012-99180(P2012-99180)  
 【国際特許分類】

A 6 3 B 53/04 (2015.01)

【 F I 】

A 6 3 B 53/04 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月16日 (2015.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

前記細溝の幅が  $50\ \mu\text{m}$  以上  $400\ \mu\text{m}$  以下であり、  
 前記細溝の深さが  $10\ \mu\text{m}$  以上である請求項 1 に記載の形成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

なお、ゴルフクラブヘッド 1 を競技用とする場合、ルールを充足する点で、隆起部 34 のフェース面 10 からの高さ（突出量）は  $5\ \mu\text{m}$  以下であることが好ましい。また、フェース面 10 の表面粗さは、接触針の先端角度が  $30 \sim 60$  度のコントレーサで  $180\ \mu\text{inch}$  以下であることが好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

状態 S T 3 は側壁 31' にレーザ光 L B を照射している状態を示す。この場合は、レーザ光 L B の照射方向をフェース面 10 に対して垂直な方向 d 2 から傾斜した方向 d 3 とし、フェース面 10（一次成形品 1'）又は照射部 4 を細溝 30 の形成方向に相対的に移動する。